第 64 回鹿児島県下一周駅伝 肝属チーム奮闘

２月 18 日（土）から 22 日（水）までの５日間、薩摩・大隅路を巡る 53 区間 588.1km を県内 12 チームが走破する第 64 回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催されました。垂水市からは、肝属チーム主将として龍﨑唯一選手（垂水市消防本部）が出場しました。肝属チームは B クラスで出場し、昨年総合８位から２位順位を上げ総合６位でフィニッシュしました。大会最終日に垂水市を選手が通過した際には、小学生や地域住民の方など多くの方が歩道から応援し、選手を後押ししていました。

道の駅たるみず来場者 900 万人記念式典

２月 19 日（日）、道の駅たるみずにて、来場者 900 万人を祝した記念式典が開催されました。道の駅たるみずは平成 17 年４月に開駅し、11 年 10 か月となる平成 29 年２月で来場者 900 万人となりました。当日は、関係者が見守る中、900 万人目の来場者と伴に、記念セレモニーや記念品贈呈などが行われました。道の駅たるみずでは今後、４月 23 日に 12 周年を記念した創業祭を予定するなど、更なる取組を重ね来場者数 1000 万人を目指し、より多くの来場者に喜ばれる施設作りを推進していきます。

垂水吹奏楽団から 義援金贈呈

２月 21 日（火）、垂水吹奏楽団が台風 16 号災害に対しての義援金寄附のため市長室を訪れました。今回の寄附は、垂水災害復興チャリティーコンサートとして開催された第３回たるみず吹奏楽フェスタにて集められたものです。田中敏昭団長は「台風 16 号で被災された皆様に少しでもお手伝いできればと思い、義援金を集めました」と話されました。寄附をしていただいた皆様に、深く感謝申し上げるとともに、益々のご健勝をお祈り申し上げます。

伝統を未来へ繋ぐ 境地区二月祭り

３月５日（日）、牛根境地区にて二月祭りが開催されました。これは、牛根境地区住民の一年間の五穀豊穣と家内安全を祈願して行うものです。当日は、小学生をはじめ多くの参加者が集まり、老神神社で伝統芸能の棒踊りを奉納した後、２班に分かれて地区内の民家を回り踊りを奉納しました。境地区の棒踊りは、三尺・鎌・六尺が３列になり、前後が一組で入れ替わり、切り合いを大きくし勇ましくすることが特徴です。棒踊りをとおし子どもたちや地域がつながり、伝統文化を未来へ受け継いでいます。

歴史を感じる伝統工芸品 春を呼ぶ垂水土人形展

２月 26 日（日）から３月５日（日）までの８日間、旧川畑秀夫さん宅（本町）にて県指定伝統工芸品の垂水土人形を展示する「第５回春を呼ぶ垂水土人形展」が開催されました。初日には、今回初となる垂水吹奏楽団の演奏の下、尾脇市長や垂水市観光協会などの関係者による着物練歩が行われ、また会場では井出弘人長崎大学教育学部准教授（本町出身）による本町歴史講演会が行われました。期間中は、県内外から約 500 人の来場者でにぎわいました。

女性消防団員が伝える 住宅防火の広報活動

３月５日（日）、タイヨー垂水店にて住宅防火のための広報活動が垂水市消防本部と垂水市消防団により行われました。同活動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の普及と火災の発生を防止を目的に住宅用火災警報器の普及促進を図るものです。今回は、垂水市初となる女性消防団員である宿利原恵さんが、女性ならではの柔らかな広報で主婦を中心に調査やリーフレットの配布を行い防火のため活動されました。